

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 2019年3月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100534
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 中山
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町1233番地4 (電話) 099-269-7076
自己評価作成日	2019年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	2019年2月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

心身穏やかな毎日を過ごしていただける様に家族のように寄り添い、人としての尊厳と活力の向上を大切にしています。共同生活の中で、「出来ること」「出来ないこと」を見つけ、出来ない部分をスタッフがお手伝いをし、生活されている入居者様と協働しながら楽しく毎日を過ごしています。毎日の生活の中で、食事を美味しく頂くための口腔体操や訪問歯科を活用。また、健康の維持のための定期的な病院受診の付き添いや訪問リハ・マッサージ等を活用しています。年間を通して季節を感じられる行事、「お花見」や「節分」「餅つき」など行っています。行事には、お隣の保育園や他のグループホームとの交流、地区行事参加やボランティアを活用したりと地域資源を活かたり、ご家族様に協力をもらいホームの生活に変化をつけ充実した飽きの来ない生活を送れるようにご家族様やスタッフが協力・工夫しております。ホームの周りには田園風景が広がり、豊かな自然から四季を感じることができます。近所には、交番、クリニック、公民館があり非常に生活しやすい環境が整っています。内部研修や外部研修に参加し入居者様の急変時の対応方法や認知症介護について理解を深めております。また、消防局災害時の避難方法等を実際に行いながら実践。家庭的な雰囲気の中で、入居者様は生き生きと生活されております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当グループホームは地域との交流を大切にしている。町内会に加入して、日常のあいさつや清掃活動に参加したり、地元行事の運動会・文化祭の見物・七夕コンサート等で地域住民と交流している。ボランティアや中学生の職場体験学習などを受け入れている。保育園児とのふれ合いで敬老会や七夕の飾りつけのプレゼント等があり、事業所菜園のトマトと一緒に収穫する等、日常的に交流を行っている。
- ・毎月発行される『グループホーム中山新聞』は、保育園の夏祭りに浴衣を着て化粧して参加している嬉しそうな様子が家族に分かり易く紹介される等、家族と信頼関係ができています。
- ・残存機能の保持に努め、新聞を読む・畑の土いじり・太巻き作り・外食・みかん狩り等の外出の機会が多く、個々を把握して増進に努めている。
- ・訪問看護が毎週1回あり、24時間医療連携体制が整っている。緊急時の対応も家族と話し合いができています。
- ・管理者は職員の資格取得にも協力的で、研修会の参加も積極的に勧めコミュニケーションを図り、介護サービスに反映している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者様と家族の思いを尊重、自立支援、食事の工夫、地域交流を中心とした理念を掲げ、毎朝唱和し意識付けを行い業務を始める。1年に一度振り返り理念の確認を行う。	毎朝、申し送り時に理念を唱和している。玄関・事務所・ホールに地域密着型を踏まえた理念を掲げ、パンフレットにも掲載している。ミーティングや職員会議で確認し実践につなげている。利用者が地域でその人らしく生活できるように実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お隣の保育園との交流や地域文化祭等の行事に参加したり、散歩や買い物、外食等の外出を通じ交流が持てるように心がけている。	町内会に加入して、回覧板で情報収集したり地域行事の清掃活動・七夕コンサート・文化祭・運動会等に参加している。保育園の七夕祭りの飾りつけやクリスマス会で交流があり、中・高校生の職場体験学習の受け入れもしている。散歩や買い物の時の近隣とのあいさつ、野菜の差し入れ等があり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事等や外出した際など地域の方々に認知症の方を理解してもらい手伝って下さる。サマーボランティアや職場体験の受け入れをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一回運営推進会議を開催し、家族や、長寿安心相談センター、民生委員に出席いただき、ホームでの活動・研修報告、勉強会など様々な話し合いを行い、意見をいただいている。</p>	<p>定期的に運営推進会議を行っている。事業所の活動状況や看取りに関する事・ヒヤリハット報告・インフルエンザについて・外部評価結果報告・災害対策などの報告をして、意見交換を行い、サービス向上に反映している。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月、長寿安心相談センター、民生委員へホーム発行の新聞を郵送している。また運営推進会議へ出席してもらい、意見をいただいている。地域ケア会議に参加している。</p>	<p>市の担当者とは、書類の更新・事故報告・オムツの申請などで連携を取っている。ホーム便りを郵送したり、運営推進会議ではホームの状況を報告して意見や助言を貰っている。介護相談員の受け入れもしている。自治体主催の研修会には、積極的に参加し、協力関係を築いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月年度計画に沿って、職員会議の際に身体拘束廃止委員会を開催し、日々のケアの振り返りを行っている。外部・内部研修を通して職員一人ひとりが身体拘束についての理解を深めるように意識付けをしている。</p>	<p>年間計画があり、マニュアルを中心に毎月身体拘束廃止委員会を開き研修を行っている。3ヶ月に1回は虐待や感染予防の安全対策についても勉強会を行っている。言葉の拘束にも配慮している。外部研修にも参加して身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。日中、玄関は施錠せず、外出傾向のある時は声かけして職員で連携をとり、自由な暮らしを支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3ヶ月に一回、職員会議の際に高齢者虐待委員会を開催したり、外部・内部研修を行い日々のケアの中に言葉による虐待等ないか確認を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度、自立支援制度の外部研修に参加し学ぶ機会を設けている。必要のある方がいらっしゃった場合は活用できるように支援を行う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は時間をかけて説明を行っている。ご家族に対して、重要事項説明書及び契約書の一項目ずつ質問等ないか読み合わせし不明な点がないか確認を取っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様、ご家族から意見、要望をもらえる体制として、出入り口への意見箱の設置、相談苦情受付者の電話番号の掲示、運営推進会議の開催を行っている。	入居者とは日常のケアの関わりの中で把握している。家族からは面会時や家族会・運営推進会議時に意見や要望を聞いている。毎月のホーム便りでも連携を取っている。第三者委員にも相談苦情ができることを伝えている。薬の件や電話の要望等、思いや意見に対応して支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議や個別に職員の意見を聞く機会を作り、管理者が代表者に伝え、反映できる体制がある。</p>	<p>日頃から職員とのコミュニケーションをとり、意見や提案が言いやすい環境である。職員会議やミーティング等で意見を聞く機会がある。意見はケアに関する事が多く、出された意見は検討して、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人ひとりの生活ニーズに応えられるようなシフトの調整、資格による手当、他の介護施設での研修等、向上心や、やりがいを持てるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々が自己研鑽できるように、法人内外の研修の情報提供をし、希望者には参加してもらっている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>系列のグループホームへの助勢や共同行事や親睦会などで情報交換を行っている。地域ケア会議や外部研修に参加し他の法人との交流を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族や関係者から情報を提供していただき、本人、家族と一緒に話し、見学をしていただいている。他の入居者様とも交流していただき雰囲気味わってもらっている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人、家族の心配事や意向を聞き、ケアの方向や安心して生活を送れるよう関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の必要としている要望を見極め、安心して生活ができるようにケアプランに反映させ同意をもらい。必要に応じて往診、訪問マッサージ等の利用等を含めた対応をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家事等（洗濯物たたみ、洗濯物干し、食材の下ごしらえ）を職員と一緒にやり、話をしながら様々なことを教わっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族が来訪した際は、本人の近況の報告を行いケアの方法を検討している。ご家族様に運営推進会議や行事に参加していただき、共に本人を支えあっていたいでいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や知人との電話や面会があり、来訪の際は居室等でゆっくり談笑していただけるように支援している。職員やご家族様に協力いただき兄弟の家や墓参りに行かれる。</p>	<p>面会があり居室で楽しく話している。墓参りや馴染みの店で外食や買い物をしたり美容室は家族の協力を得て対応している。自宅訪問に同行することもあり、手紙や年賀状の取次ぎも行って、馴染みの関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士でのトラブルがおきないように、座席の配置に気を配り、職員が間に入って会話をしたりして支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>長期入院世方など契約が終了しても、関係が断ち切れないように、困りごとがないかの連絡をとったり、他施設、病院へ面会に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向に沿って日常生活していただいている。また、意思疎通が困難な方は、家族と職員で情報を共有し、体調などを考慮し本人らしく生活ができるようにしている。	個別に思いや意向を把握できるように日常の暮らしの中で声かけして傾聴している。夜勤時のゆっくりした時間に話を聞いている。困難な場合は、家族から話を聞いて情報を共有し対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等を利用し、家族や関係者から情報をもらっているが、曖昧な部分もある。本人との会話の中で、これまでの生活暦の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のサービス記録、身体状況表、日誌、病院受診記録をとり、現状の状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、日常生活で出た課題を本人、家族、職員で意見を出して検討し、本人の意向に沿った介護計画が作れるようにしている。	本人・家族から事前に聴き取りをしたり日々の記録から総合的に把握し、主治医の意見を入れて、担当者会議を開き介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月毎に行い、必要に応じて見直している。状況が変化した時は、その都度見直ししている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のサービス記録、日誌の活用や申し送りで情報を共有し、モニタリング・アセスメントに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	申し送り時に、必要に応じて入居者様個別の話し合いをしており、ニーズへの対応を検討、インフォーマル含めた実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事を把握して参加したり、ホーム内外での行事でボランティアによるイベントを楽しんでいる。入居者様も一緒にできるように配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談の上、救急搬送時の病院やかかりつけ医を決め、週一の訪看のバイタルチェックや月一回の受診を行い、特変、不調時にはその都度受診を行い家族への連絡、報告を行っている。	本人・家族の希望するかかりつけ医である。2週間に1回往診があり訪問看護師も週1回対応している。緊急の場合は家族の了解を得て協力医に連絡し職員が同行している。他科受診は家族の協力を得ている。受診結果は家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>怪我やバイタルサインの異常時には、訪問看護師や主治医に指示を仰ぎ、状況に合わせて病院受診を行う等して支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医療機関へホームでの身体状況の報告を行い、定期的に入院先へ面会に行き、本人との面会や病院での近況報告を伺ったりカンファレンスに参加し早期退院を目指している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に看取りの説明を行い希望を伺い、希望があれば本人や家族、主治医と相談を行い本人の望む終末期について考えている。家族や医師にホームで出来ること出来ない事を理解して頂き訪問看護等利用して頂く。</p>	<p>終末期の指針やマニュアルがあり、入居時に指針を示し同意を得ている。状況の変化により、家族と主治医が話し合いを重ね、事業所でできることを説明して、本人や家族の意向を確認し支援している。看取りも視野に入れて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故、急変時のマニュアルに従い行い、緊急時対応等の研修を行い実践できるよう個々で勉強をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回昼夜想定で防災・地震・水害の訓練を行っている。ミーティングでの話し合いも行う。職員、地域住民、家族への緊急時の応援の協力を得ている。</p>	<p>年2回、マニュアルを基に昼夜想定で防災・地震・水害の避難訓練を行っている。年1回は消防署立ち合いのもと、自主訓練を年1回防火管理責任者が中心に行っている。避難経路・避難誘導・避難場所の確認等を行っている。隣接の保育園や地域住民・入居者の家族にもお願いして協力体制を築いている。備蓄は缶詰・水・栄養調整食品等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録物には本人以外はイニシャルを使用し、声かけの際は声の大きさ、内容に注意して自尊心を傷つけないように配慮している。	マニュアルを基に勉強会を年1回実施している。人格の尊重とプライバシー保護のために、記録はイニシャルを使い、トイレ誘導の声かけや入浴介助の羞恥心等に気配りしている。名前はさんづけや本人の好む呼び方で対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様同士の会話や職員との会話の中から思いや希望を見つけて会話の中などで自己決定しやすい環境作り、声かけの工夫を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	好みにあわせてレクリエーションや家事・運動・外出等、本人のペースや希望・体調に応じて頂く。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は訪問を利用して、本人と顔なじみの美容師が会話できるように支援している。本人や家族の意向に沿った服装をしている。提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に応じて、準備、配膳を職員と一緒にしている。また、個人の疾患や状態に合わせた食事形態で食べやすい食器やスプーン・箸を活用し提供している。	嗜好調査をして、個々の食の形態に合わせて提供している。誕生日には好きな献立で、正月・敬老会・花見弁当等、喜ばれている。リフト車で歩行困難な利用者も外食で食事を楽しんでいる。職員と一緒に食事の準備・皮むき・根切り・下膳等を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾患や体調・嚥下状態の応じて食事の配慮を行い、食事・水分の摂取量の少ない方は、ゼリー等代替品等で補う等工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを毎食後行い、必要に応じて歯科受診、往診を行っている。入居時や定期的に歯科健診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立可能な方はさりげない声かけや見守りで確認を行っている。介助が必要な方は、声掛けや時間でトイレ誘導を行っている。トイレでの排尿を促し自立にむけた支援を行っている。	排泄チェック表を活用して、排泄パターンを把握、プライバシーに配慮しながら時間を見て誘導している。排泄後にさりげなく確認する場合もある。介護用品も個々に合った物を選択している。便秘対策で食事内容を工夫して取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄のチェックを毎日行い、乳製品の摂取やオリゴ糖の活用や食事内容の工夫に取り組んでいる。また主治医に報告し下剤の調整行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は希望で毎日可能であるが体調や年齢を考えて入浴している。希望があればその都度入浴して頂いている。	入浴は週に3回を目安にしているが、毎日入浴の利用者もいて柔軟に対応している。2人介助もしている。入浴を拒む利用者には声かけに工夫して、タイミングをみて対応している。季節により柚子湯や菖蒲湯・みかん・はっさく湯にして入浴を楽しむ支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の個々の希望に応じて居室等で休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後の処方について、朝・夕の申し送り時に報告をし、職員は入居者様のカルテを参照して薬の用法、用量、副作用を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事（洗濯物たたみ・干し、食器洗い、調理、掃除）を中心に入居者様自ら協力できるように支援している。新聞・パチンコ台も貸し出している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望者のみの外出や行事での外出（遠足、外食、等）を行っている。個別の希望（墓参り）を行っている。市外への外出希望の場合は家族に協力をいただいている。</p>	<p>日常はその日の希望により、戸外での外気浴や散歩・草むしり・洗濯物干しをしている。年間計画で、初詣・祭り見物・コスモス見物・みかん狩り・そうめん流し・花見等に出かけている。歩行困難な利用者もホームの車で対応している。墓参りの個別支援や家族の協力を得て外食等にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小額のお預かり金があり、希望があればご家族様に同意をもらい職員と一緒に買い物に出かけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人からの電話のやり取りができるように支援している。家族に同意をもらい希望に沿って本人自らが電話や手紙を書けるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が分かるような飾りつけや、季節の花を花瓶に挿すなど工夫をしている。入居者様が居心地良く生活できるように、室温、騒音、光に注意している。	共用空間はエアコンや加湿器などが設置され温度調節や採光に気配りしている。掃除が行き届き清潔である。台所や事務室からは利用者の動きが良く見えて、対話もでき家庭的な雰囲気である。ソファでゆっくり寛いだり対話をしている。和室もあり温もりを感じる。花も飾っており、習字の作品や季節の飾り物・行事の写真があり居心地よく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様個人の席があり、共用のソファや和室もあり、思い思いに過ごせるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた身の回りの物を居室に持ち込んでもらい、本人が落ち着いて過ごしていただけるように工夫している。	居室はベッドやエアコンが設置され、家族と相談して持ち込まれたテーブル・椅子・テレビ・仏壇・家族写真・花・暦等の小物や馴染みの物が置かれている。プライバシーも守られ、安心して過ごせる居心地のよい居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様に応じての表札。また、手すりの設置やカウンターテーブルでの作業など入居者様の身体状況に応じてできるだけ自立した生活が送れるようにしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない